



かもみーる通信

CONTENTS

- * 研究補助員配置制度
- * サイエンス夢追い人育成プロジェクト
- * 育児休業者交流会
- * カモミール月曆
- * 英語プレゼンテーションセミナー
- * 保育園たより

＜募集予告＞

研究補助員配置制度

この制度は、育児や介護等により研究時間の確保が困難な研究者を対象に、研究データ解析、学会発表資料作成、実験補助、文献調査、統計処理等の研究補助業務を行う研究補助員を配置し、育児等と研究との両立を支援する目的で行うものです。また次世代育成のために、研究者と支援者双方のキャリア形成、キャリア復帰等のチャレンジ支援・再チャレンジ支援に寄与することも目的としています

平成29年度第1期の配置期間 平成29年4月1日～平成29年9月30日
申請期間 平成29年1月12日（木）～ 1月26日（木）午後5時必着

申請資格

- 1) 小学校6年生までの子どもをもつ研究者
(休暇、休業中を除く)
- 2) 市町村から要介護、要支援、障害者の認定を受けている親族について、主たる介護・看護者が申請者自身である研究者
*上記1) 2) の申請資格に関しては、配偶者がいる場合は、配偶者がフルタイム就労者である者に限る。
- 3) 妊娠中の体調不良により、研究活動等の遂行に支障がある女性研究者（産前休暇中を除く）
*上記3) の申請資格に関しては、配偶者の就労形態に関しては問わないが、申請者の体調に関して、配偶者、研究室責任者あるいは部局長、医師などとよく相談し、研究継続が可能かどうかを確認の上、申請すること。
- 4) 男女共同参画推進室長が認める者

本制度の対象となる職種

- 1) 常勤職員のうち、以下の職に従事している者
(a) 教授、准教授、講師、助教、助手
- 2) 有期雇用職員（フルタイム）のうち、以下の職に従事している者
(a) 特任教員
(特任教授、特任准教授、特任講師、特任助教)
(b) 研究員
(特定研究補佐員、産官学連携研究員、特定研究者、学術研究補佐員等)*
(c) 医員*
- 3) 男女共同参画推進室長が認める者
*ただし、大学院生は不可

★ 詳細は上記申請期間中に男女共同参画推進室WEBでご確認ください。

妊娠中の体調不良や親族の体調の急変等のため、介護・看護の必要性から研究活動が困難となった方は、申請受付期間とは関係なく、いつでもご相談ください。

カモミール月曆（室長からのメッセージ）

副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

育児・介護中の職員の働き方改革に係る職員就業規則 一部改正

2016年12月1日施行で、育児・介護中の職員の働き方改革に係る「職員就業規則」が一部改正されました。今回の改正は、**育児・介護中の教育職員（裁量労働制適用）の勤務軽減**を図ることを目的としています。

目下、育児や介護のために職務に専念することが困難な職員に対する支援制度として、育児部分休業や介護部分休業など、時間単位で勤務時間を短縮する制度が「職員就業規則」において定められており、主に事務職員や看護職員の方々が利用しています。

他方、裁量労働制が適用されている教育職員においては、みなし勤務時間として、個々人の裁量が認められており、自主的な勤務時間の決定が可能ですが、現実的には、会議や実習等のために個人の裁量だけでは出退勤時間を調節できない場合もあります。そのため、**育児や介護中の教育職員にあっては、周囲への気兼ねや遠慮等によって、勤務時間の短縮を躊躇・断念せざるを得ない場合も見受けられます。**

このような状況を解消するため、今回の改正では、**裁量労働制適用職員が育児・介護の時間確保のために、時間単位での勤務時間の軽減**を図ることを趣旨としています。すなわち、**希望者については、育児・介護のために勤務時間を8:30~17:15に変更した上で、短縮することができるようになりました。**

岐阜大学構成員の「働き方改革」の一環として、育児・介護中の短時間勤務を希望する方々に、今回の改正の趣旨が活かされますようお願いしています。

女性教員 活躍推進のための環境整備 * 先行大学の事例

この度、国立大学法人評価委員会が取りまとめた「国立大学法人・大学共同利用機関法人の改革推進状況【平成27年度】」が発表されました。「I. 法人の戦略に基づく機能強化及び活性化に向けた取組 2. 多様な人材を活用するための人事制度の構築」のうち、「**女性教員の活躍推進のための環境整備**」の具体的取り組み例（一部）をご紹介します。

岩手大学については、**女性研究者を上位職で採用した場合に不足する人件費を補填する「One-Up公募制度**」など、学長のリーダーシップの下、全学を挙げて女性研究者の採用促進に取り組んだ結果、女性研究者の採用比率が全学での数値目標20%を大幅に上回る34.6%を達成したことが特筆されています。

http://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2013/201401/201401_02.html

このような卓抜な取り組みにつきまして、**2017年2月2日（木）15:00~17:10 岐阜大学講堂**で開催を予定している文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の今年度総括フォーラム「『**女性が輝く岐阜**』に向けての大学の役割」において、**岩手大学理事（復興・地域創生・男女共同参画担当）・副学長の菅原悦子先生**の基調講演から多々学ばせていただきたく願っています。後日ご案内をいたしますので、どうぞぜひご参加ください。

また、**名古屋大学**については、**名古屋市立大学・豊橋技術科学大学**などの近隣大学や地元企業・自治体と構築した「**AICHI女性研究者支援コンソーシアム**」における女性研究者の上位職登用や研究力向上に向けた取り組み、女性リーダー育成推進の取り組みの成果が認められ、国連機関 **UN Women「HeForShe」** キャンペーンのパイロット事業「**IMPACT 10×10×10**」（10国家元首、10企業CEO、10大学長）において、女性の活躍を推進する世界の10大学に国内で唯一選出されたことが挙げられています。

去る11月17日（木）、その「**HeForSheセミナー**」が名古屋大学豊田講堂で開催され、シンポジウム「**ダイバーシティと女性のリーダーシップの促進**」を聴講しました。**松尾清一 名古屋大学総長**による講演「**将来ビジョンとコミットメント**」、**吉田晴乃 BTジャパン（株）社長**による基調講演「**The Digital Possible ~ 第四次産業革命時代における女性の活躍**」では、女性リーダー育成に向けての具体的な実践活動が、講演者の熱いメッセージとともに語られました。パネルディスカッション「**女性のリーダーシップ促進のためにできること**」に登壇した、名古屋大学の5名の院生の皆さんからも、それぞれ課題に向けての正鵠を射た発言が相次ぎました。

<https://www.pwc.com/jp/ja/japan-seminar/2016/assets/pdf/joint-heforshe-seminar161117.pdf>

岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ（株）による連携事業「**清流の国 輝くギフショ** 支援プロジェクト」におきましても、また岐阜大学での「働き方改革」におきましても、課題解決・改善に向けて、先行大学の制度設計や成功事例につきまして、引き続きご紹介してまいります。ぜひご参考になさってください。

(女子大学院生による出前講義)

サイエンス夢追い人育成プロジェクト



▲ 佐野 有希 さん

11月9日(水)に、岐阜農林高等学校動物科学科1年生向けに出前講義を実施しました。講師は、去年も担当した連合獣医学研究科基礎獣医学専攻博士2年の佐野有希さんです。昨年は2年生向けに講義をしましたが、今年は1年生向けに講義をしてほしいとの依頼があり、「研究の紹介 これまでの進路選択」と題して、出前講義を実施することになりました。昨年からのハムスターの冬眠に関する研究の成果も発表に盛り込み、岐阜農林高校の1年生にとっても、大変興味深い講義になったようです。



▲ 寺添 朱里さん

11月29日(火)池田高等学校習熟クラス(進学コース)2年生約40名向けに、工学研究科生命工学専攻博士前期1年の寺添朱里さんと、同じく工学研究科環境エネルギーシステム専攻博士後期2年のラマヤンダさんが講師をつとめました。池田高校の生徒さんが岐阜大学に来て講義を受ける形式で、寺添さんは、「進路選択、そして今」と題し、土壌に存在する微生物から、目的の化合物を作ることのできる酵素を持つ微生物の探索をおこなっている研究を紹介し、「迷いつつも、その時全力で悩んで出した答えは絶対後悔しない。いろいろな夢がつながって、大学に来てすべてが叶う一つの大きな夢になることもある」とメッセージを送りました。インドネシア出身のラマヤンダさんは、「私の研究と学生生活」と題し、川床の条件が土砂によって変化すると、川の流りにどのような影響が出るかという研究を紹介し、「留学生活ではつらいこともあるけれども、自分の好きな研究を続けてゆきたい」と述べていました。インドネシア文化の紹介もあり、池田高校の生徒さんもとて興味深そうに聞いていました。



▲ ラマヤンダ さん

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
[ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)]



英語プレゼンテーションセミナー

11月12日(土)に、岐阜女子大学文化情報研究センターにて英語プレゼンテーションセミナーを開催しました。講師は翻訳・校閲などを主におこなっているリンクサイエンス社代表の川上倫子先生にお願いしました。日本人講師による、日本語での講義で、参加者もリラックスして受講できたようでした。

内容も、日本語を母国語とする人のための英語プレゼンテーションのコツや、日本人にありがちな誤解や間違いについての話が多く、例えば、自身の英語能力の不足について謝ったりするのは逆効果であるという基本的な感覚の違いのお話も盛り込まれていました。それを踏まえた上で、いかに聴衆に効果的にアプローチできるプレゼンテーションを構成するか、便利なフレーズ、効果的な主題の提示法、スライドの作り方などの論点から講義していただきました。聴講者からは「内容が明確にまとまっていて、よく理解できた。」という声が寄せられました。



育児休業者交流会

この交流会は、人材開発部職員育成課の次世代育成支援の取り組みの一環として、育児休業中の事務職員を対象に、職場復帰の支援を目的に、平成24年度から毎年実施しています。

今回の交流会には、育児休業者10名、育児休業経験者2名及び人材開発部職員4名が参加しました。復帰後の仕事と育児の両立に不安を抱えている育休者からの質問に経験者が応えたり、育休者同士の情報交換を行いました。また、担当職員が両立支援制度の取得について説明するとともに、復帰後の働き方改革についての話題もあり、有意義な交流会となりました。



育休中の事務系職員のための
「交流会」開催のお知らせ

「働き手」にさらけよう！
最大限の最新情報を
知りたさい。

育休経験者から、
復帰後の生活聞きたい。

経験者に育休について
知らしたい。

職場復帰では、職場の復帰の悩みや職場復帰への不安解消に
役立つ交流会を開催し、復帰の職場復帰を応援します。
経験者の質問・ご要望は、今後の育児休業支援事業に役立てたいです。

日時：平成28年11月15日(火) 13:30~14:45
場所：岐阜大学柳戸会館1階 集会ホール
(※託児：柳戸会館2階 集会室)

参加者：育休者、育休経験者、人材開発部職員
内容：*大学の情報(最近のトピックス)
*参加者交流会

是非、ご参加ください。

お子様連れ
OK

【お問い合わせ先】
人材開発部 職員育成課 男女共同参画室
〒501-8502 岐阜市柳戸1-1
TEL: 058-293-3378 FAX: 058-293-3396 E-mail: sankaku@gifu-u.ac.jp

保育園たより

11月2日(水) 秋の遠足(ホスピタルパーク・岐阜フィールド科学教育研究センター)

秋晴れの空の下、保育園の子ども達が全員集まって、一緒にたくさん遊びました♪



みんな並んでおやつタイム



仲良くなった動物と一緒に♪



優しいお姉さんと一緒に♪



これ何?変わった形してるよ!

11月22日(火) 勤労感謝(保育園・本部棟4F・岐阜フィールド科学教育研究センター)

「いつもありがとう」の感謝をこめて、手作り写真たてをプレゼントしました♪



春日晃章保育園長へ



伊藤弘司人材開発部長へ



清水則之職員育成課長へ



フィールド細江重男さんへ